耐震シェルター

【補助金制度】

当社では、耐震シェルター「剛建」と「レスキュールーム」の代理店として販売施工を行っています。先日、県中部の方からシェルターについて問合せをいただき、一通り構造や補助金制度の説明をさせていただきました。東日本大震災から近隣市町では補助金制度が創設されていますので、頑丈で安心な耐震シェルターの設置を是非ご検討してみたらいかがでしょうか。（市町によって条件や金額が異なります）

【レスキュールームの構造】

「剛建」の施工実績はあるのですが、「レスキュールーム」の実績がまだありませんので、浜松の施工見学へ行ってきました。「剛建」は部屋の中に部屋を作るイメージですが、「レスキュールーム」は内装を撤去し、耐震フレームを設置して再度内装を仕上げるものです。

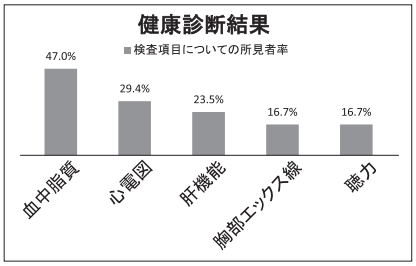
全国労働衛生週間

本週間 9/1～10/7

スローガン『健康職場 つくる まもるは みんなが主役』

健康診断結果

七月に行われた健康診断の結果、有所見の多かったのが血中脂質。その中でもLDLコレステロール（悪玉コレステロール）の異常の人は半数以上です。過食・高脂肪食・運動不足等で上昇します。食生活と軽い運動に心掛けましょう。



チャレンジラリー150

今年もチャレンジラリー150へ一チーム（三名）が参加します。八月八日から来年の一月四日までの百五十日間、無事故・無違反達成できるように日頃から安全運転に心がけましょう。

参加者

落合雅敏
内田和憲
藤本裕生

9月安全努力目標

年度安全標語《経験と慣れが生みだす大きな過心 初心に返り 安全確認》

全国労働衛生週間準備期間〈9/1～9/30〉

平成28年度秋の全国交通安全運動〈9/21～9/30〉

作業安全
- 重機・機械の転倒災害を万全に
- 安全書類の点検と整備

交通安全
- 高齢者に対する防衛運転

環境目標
- プリンター・コピーの印刷ミスを減らしましょう

行事記録（7/27～8/26）

7/27 平成二十八年度静岡県交通基盤部優良工事等表彰式及び技術者講習・静岡
7/28 内外情勢調査会中東遠支部懇談会・掛川
7/29 第三十二回技術発表会並び平成二十八年度技術講習会並びに技士会袋井地区第五回代議員会・袋井
8/2 社内防災教育
8/4 下松原川地元説明会
8/5 相続対策・事業継承セミナー
8/6 御前崎市建設業組合役員会
8/8 内外情勢調査会中東遠支部懇談会・掛川
8/9 第十四回親子現場見学会・三重
8/11～8/15 袋井土木事務所・中遠農林事務所優良事業等表彰式 工事現場安全管理講習会・袋井
8/17 御前崎みなと夏祭り・花火大会
8/19～8/21 第一回大学生等就職フェア・浜松
8/23～8/25 静岡県土木工事共通仕様書・工事成績評定要領等説明会・浜松
8/26 夏季休暇

行事予定（8/27～9/26）

8/27 平成二十八年度菊川警察署夏季訓練納会・菊川
8/28 御前崎市建設業組合視察研修・九州
8/30 静岡県土木施工管理技士会技術研修会
8/25 菊川南陵高等学校インターンシップ学生受入
8/26 御前崎港管理事務所出動要請応諾訓練
8/27 御前崎市商工会理事会
8/28 菊川から学ぶ 集い・菊川
8/30 総合防災訓練
㈱御前崎草木処理センター定時株主総会

すべての心と心をつなぐ 誠熱創決 意
発行 増田組
TEL〇五三七一八六一三二四五
FAX〇五三七一八六一六六七五

風紋

2016 No.527（9月号）

浜岡砂丘

『ドライブレコーダー』全車両に装着完了

当社の交通安全活動は労働安全活動と同様に安全活動の二本柱です。

近年は重大災害の発生は一件もありませんが、日々気を抜くことの無いよう注意喚起を行うことが当社の安全の姿勢であり、その結果として事故防止につながっていると思います。

そのような経緯と機械自体が安価になったことから、懸案であった「ドライブレコーダー」を七月に全車両に装着しました。

装着した目的は、

①個人の安全運転の意識づけ

②不幸にも事故が発生した場合の検証（当方の過失も検証できる）

③企業の社会的責務の履行

の三つの目的により「ドライブレコーダー」の装着を行いました。

事故は絶対に起こさない、起こらないという保障はありません。個々の安全運転が最も重要ではありますが、企業としても積極的に事故防止活動へ関与をしていくことが社会的責任になります。

今後も引き続き個人の安全意識を高め、企業としての交通安全活動、労働安全活動の充実を図っていきたいと考えます。安全活動には終わりはありません。全員の協力をお願いします。

ドライブレコーダー映像

ホームページアドレス

http://www.masudagumi1912.co.jp

カタログパーク http://www.hamaoka.or.jp/masuda.html

社内防災教育

7/29

七月二十九日、本社研修室で防災教育を実施しました。昨今、地震災害以外にも様々な自然災害が全国各地で発生しています。そのような中、社内でも自然災害についての知識習得を目的として前期より防災について年一回勉強しようと安全委員会が中心となり実施してきました。

今年度は、「図上災害訓練ＤＩＧ」を中心に御前崎市防災課の栗林様、山下様を講師に招き、熊本地震での派遣体験や御前崎市の防災体制についてお話いただき、「ＤＩＧ」では、訓練指導をしていただきました。また、東日本大震災時の津波襲来の映像を視聴し、津波の恐ろしさを今一度確認することができました。

「災害図上訓練ＤＩＧ」

今回当社では、本社事務所があります新野地区を対象に、初めて「災害図上訓練ＤＩＧ」を実施しました。五人一組でグループ分けを行い、地震災害はもちろん様々な災害を想定して実施しました。

今回実施して、社員一人ひとりが災害について考え、建設業の使命として災害時には復旧にあたるためにも、地元新野地区の地理であったり、避難場所を確認し、災害の可能性を想定することが出来たのは良かったと思います。

各グループで作成した危険箇所マップ

各グループの発表

災害図上訓練ＤＩＧとは

大きな地図を囲みながら、参加者全員で地域の防災対策などを考える訓練です。

第14回 親子現場見学会

将来を担う子供たちに土木技術のすばらしさを肌で感じていただこうと「第十四回親子現場見学会」が一般社団法人袋井建設業協会と一般社団法人静岡県土木施工管理技士会袋井地区が共催で八月四日に実施されましたので、技士会役員として参加してきました。

今回は初の県外の現場見学として、三重県にある中部電力株式会社の施設である川越火力発電所の見学にいきました。見学現場に向かうバスの中では、中部電力の担当者の方から、エネルギーについて発電所にはさまざま種類がある事や、火力発電所の仕組み等の説明を受けました。

川越火力発電所に着いてから

日本一を目指して

山下メロン園　山下 剛

こんにちは。

猛暑日が日本全国で記録される中、皆様はお体に変わりはありませんか？山下メロン園はスタッフ一丸となっておいしいメロンを皆様にお届けできるよう頑張っています。

さて、静岡県温室組合は八月に年度が替わり各役員は二年の任期が終わり、新年度とともに新役員でスタートしました。

私の父は、アローマ静南支所長の二期目に入り一期目でやり残したことを実現させようとしています。

組合、組合員、市場、お客様にとってより良い方向性を目指していってもらいたいと思いますし、我々若手からもいろいろな意見を出して盛り上げていきたいと思います。

◇エチレンガス◇

先月の話の中にエチレンガスが出てきました。今月はそのエチレンガスとメロンの関係性について書かせていただこうと思います。

収穫したばかりのメロンはまだ硬く、そこから追熟（ついじゅく）といってメロン自身からエチレンガスを少しずつ出して自ら柔らかくなります。

その追熟に適した温度が二十五℃と言われています。

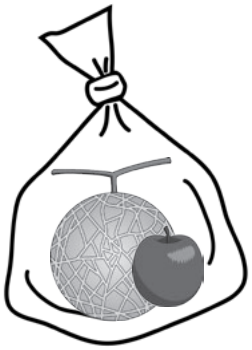
私の経験や、試験場での試験結果では冬の十五℃を下回る場合はやはりエチレンガスの出が悪く食べ頃になるまでに時間がかかります。

逆に夏はというと三十℃を超えた場合、追熟スピードが早まります。

そして、二十五℃で追熟させたメロンは、一番香りが良いという結果もあるそうです。

山下メロン園では、お客様の送りたい日や、食べたい日などと収穫日のタイミングが合わない場合、エチレンガスを吸収させる資材を使って日持ちさせたり、逆にエチレンガスを放出させる資材を使って食べ頃を早めたりして対応させていただいています。

身近なものですと、リンゴからたくさんのエチレンガスが出ますので、リンゴとメロンを一緒の袋に入れて保存しておくと早く食べごろになります。その時にも温度を二十五℃に保つことで、香りも良い、食べ頃となります。



品評会などでもこのエチレンガスを使ったり、日持ちさせたりして品評会当日のドンピシャの食べ頃を調整しています。

品評会と言えば、八月二十六日には夏作品評会が行われますので良い結果を残せたらいいなと思っています。

また来月のこの場でご報告したいと思います。

まだまだ暑い日が来ると思いますが、水分をしっかり補給したりして、お体に気を付けてお過ごし下さい。

は、バスで火力発電所の敷地内を巡回し、普段では、めったに見学できないタービン建屋の中に入って、実際稼動しているタービン発電機を見る事ができました。又、ソーラーパネル移設工事においては、広大な敷地の中で着々とソーラーパネルが設置されていく様子を見学する事ができました。

川越火力発電所の敷地内にある川越電力館【テラ46】では、「人と地球の共生と未来」というテーマで、まず宇宙から見つめ、地球へ、私たちの町へと、徐々に身近な場所へ結ぶストーリー展開で、エネルギーを分かりやすく、自分に近い問題として考えられる構成になっていて、子供たちも遊んで学べる施設となっていました。

この見学会を通じ、子供たちが建設業の大切さや役割などを少しでも理解してもらえたら、ありがたいです。